

作業帯と通行帯明示を

佐藤渡辺の石井社長
舗装現場パトロール

佐藤渡辺の石井直孝社長は7日、徳島県小松島市、阿南市で施工しているトンネル舗装工事現場で安全パトロールを実施した。年度末労働災害予防強化期間の取り組みの一環。藤岡勝巳四国支店長らとともに工事の進捗(しんちょく)と安全衛生管理活動を確認した。

現場は「令和5年度横断道羽ノ浦トンネル舗装工事」(四国地方整備局徳島河川国道事務所発注)。当日は路床盛土を施工してい



パトロール中の石井社長(右から1人目)(佐藤渡辺提供)

た。
石井社長は講評で、「本格的にトンネル内工事に着手するが、作業帯と通行帯を明示し、トンネル内の通行ルールを皆で順守し事故防止に努めてほしい」と要請。藤岡支店長は「打ち合わせを密に行い、無事故無災害で竣工させよう」と呼び掛けた。

